

情報通信環境整備 機器一式

調達仕様書

令和3年5月19日

東京藝術大学

芸術情報センター

1 調達背景と目的

本調達は、世界トップアーティストの戦略的育成を新型コロナウイルス感染症拡大の事態の中で強化していくために、学内のネットワーク環境が脆弱な場所への無線 LAN を整備することを目的とする。

2 調達件名及び構成内訳

情報通信環境整備機器 一式

(内訳)

- ・無線 LAN アクセスポイント
- ・無線 LAN アクセスポイント管理システム

3 調達の要求事項の概要

- (1) 本調達は、本学の音楽学部レッスン室、美術学部アトリエ室、各講義室等、学生が教育・研究、芸術活動を行うための各所（約 200 箇所）に無線 LAN による情報通信環境を整備し、インターネットを用いた海外一線級アーティストの実技指導や海外連携大学との国際共同プロジェクト等の国際交流事業を実現、学内オンライン授業等に活用することで、本学が掲げる世界トップアーティストの戦略的育成を推進する環境整備の一環である。
- (2) 要求する事項等は、「本調達の要求事項」に示す通りである。
- (3) 「本調達の要求事項」で要求する事項は本学が必須とする最低限の内容を示しており、要求内容を超える提案をしても構わない。
- (4) 本調達で使用する機器の構成と範囲は下図の通りである。

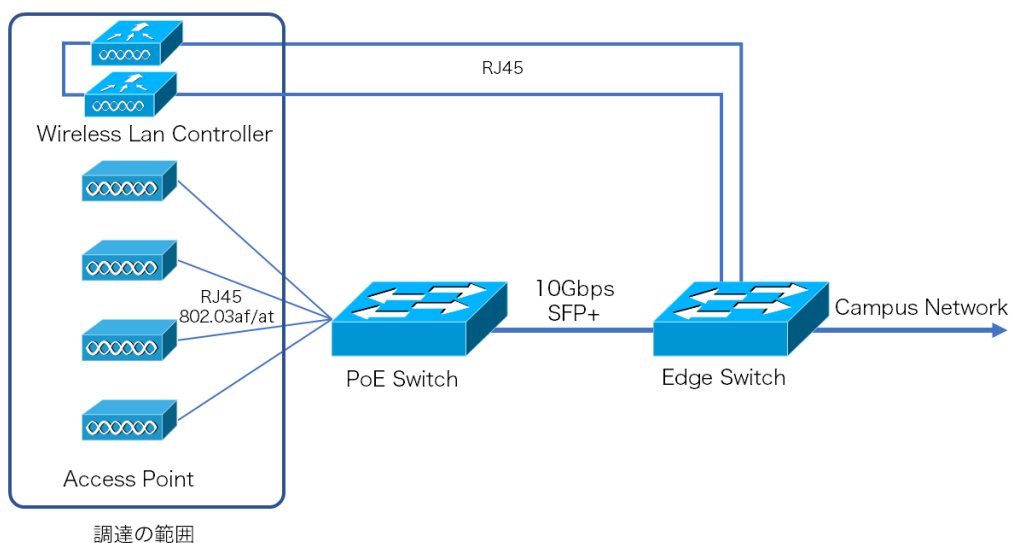


図. 機器の構成と調達の範囲

4 その他

(1) 情報提供に関する注意

本調達を検討する上で、本仕様書に記載されていない事項で必要となる情報については、本学に問い合わせを行うこと。本調達において知り得た情報(書面、口頭、目視などの形態にかかわらず)は、適正に管理するとともに、本調達にのみ使用し、いかなる第三者にも開示・公開をしないこと。情報の管理は、本調達の利用期間終了後も有効である。

5 本調達の要求事項

5.1 全体に係わる事項

- 5.1.1 機器の納入は、令和3年9月30日までに行うこと。
- 5.1.2 調達する機器は買取とすること。
- 5.1.3 機器の操作・設定等に関する、問い合わせ可能なメーカーサポート窓口が用意されていること。サポート窓口は電話、メール、チャット等オンラインツールによる対応でも構わない。

5.2 無線 LAN アクセスポイント

調達台数: 200 台

- 5.2.1 無線 LAN アクセスポイントは、1 ギガビットの RJ45 を 1 ポート以上有すること。
- 5.2.2 無線 LAN アクセスポイントは、IEEE802.3af または IEEE802.3at に対応した給電機能で動作できること。
- 5.2.3 無線 LAN 認証は、RADIUS 認証システム用いた本学 ID とパスワードを用いた Web 認証に対応していること。
- 5.2.4 Web 認証機能は、SSL 通信に対応していること。
- 5.2.5 WPA3 暗号化規格を利用できること。
- 5.2.6 IEEE802.1x 認証を利用できること。
- 5.2.7 IEEE802.11ax に対応し、動作できること。
- 5.2.8 無線 LAN アクセスポイントは、2 つ以上の SSID を管理・送出できること。
- 5.2.9 無線 LAN アクセスポイントは、VLAN に応じた任意の SSID を送出できること。
- 5.2.10 無線 LAN アクセスポイントは、接続したユーザーの帯域幅を自動制御する機能を有すること。
- 5.2.11 無線 LAN アクセスポイントは、2×2 MIMO ストリーム以上に対応していること。
- 5.2.12 無線 LAN アクセスポイントは 200 台用意すること。
- 5.2.13 無線 LAN アクセスポイントは無線 LAN コントローラで一括管理できること。
- 5.2.14 無線 LAN アクセスポイントを固定する壁面取付具を台数分用意すること。
- 5.2.15 無線 LAN アクセスポイントの設定を行うための手順書及びマニュアルを用意すること。

5.3 無線 LAN コントローラ

調達台数: 一式

- 5.3.1 本調達で用意する無線 LAN アクセスポイント全てを一括管理・設定できる管理機能を有すること。
- 5.3.2 無線 LAN コントローラの障害時に対し、無線 LAN アクセスポイントと端末の接続をアクティブ-スタンバイの構成またはバックアップとして動作する別コントローラへ接続する機能を有すること。
- 5.3.3 無線 LAN コントローラの冗長構成は、コントローラ間で AP とクライアントの状態を把握し、障害時には即座に切り替える機能を有すること。
- 5.3.4 無線 LAN コントローラは、将来のアクセスポイント増設に備え、少なくとも 350 台を管理できること。
- 5.3.5 無線 LAN コントローラは、プライベートクラウドのサーバ仮想化基盤 (VMWare ESXi) 上で動作できること。
- 5.3.6 無線 LAN コントローラは、管理外の AP を検知し、任意のグルーピングができること。
- 5.3.7 IEEE802.1x 認証をサポートし、利用できること。
- 5.3.8 IEEE802.1q をサポートすること。
- 5.3.9 Web 認証機能を有すること。
- 5.3.10 Web 認証機能利用時は、サードパーティー製の SSL 証明書を使用した https 通信に対応できること。
- 5.3.11 無線 LAN アクセスポイントの管理は、最低 3 年間以上は追加の費用なく管理機能を利用できること。
- 5.3.12 無線 LAN コントローラの導入・設定マニュアルを用意すること。